

豊明高校イラストレーション部



「もったいない」プロジェクト

問合先 環境課ごみ減量推進係 ☎0562-92-1113

マッタマン：「食品ロス」削減のために、豊明高校イラストレーション部に協力してもらい、多数のイラストを描いてもらいました。今回は、その豊明高校イラストレーション部のみなさんに行ったインタビューの様子をご紹介しますと思います。

太郎君：豊明高校イラストレーション部は、高校生たちのイラストの大会「まんが甲子園」の常連で、全国優勝したこともあるんだよね！昨年も全国2位だったし、僕の憧れだよ！

マッタマン：太郎君は詳しいね！それでは早速、インタビューの様子をご覧ください！

Q：豊明高校イラストレーション部は、何人で、どんな活動をしていますか？

A：1年生15人、2年生12人、3年生18人です。活動は、絵を描いている他、年に5回、部誌を発行しています。

Q：今回のイラストの製作時間は、どれくらいですか？

A：数時間で完成させたものもあれば、1～2週間かけて完成させたものもあります。

Q：イラストは部活の中で描きましたか？また、どんな画材を使用しましたか？

A：部活動中以外に家でも描きました。画材は、水彩絵の具や、アクリルガッシュ、ミリペンなどです。

Q：今回のイラストを描くまで、「食品ロス」という言葉を知っていましたか？

A：はい。（10人中5人の生徒が手をあげていました）

Q：今回の「食品ロス」のイラストを描いてみて、気づくようになったことはありますか？

A：外食の際に食べ残しがあると気になるようになりました。

Q：イラストを描くにあたり「食品ロス」についてどんなイメージを持ちましたか？

A：食材は、捨てる以外にも使い道があることを知り、肥料など再利用できることを知りました。

Q：家で「食品ロス」に触れる機会はありますか？

A：あります。期限切れの食品や、腐った食べ物などを捨てることなどです。

Q：今回のイラストを描く上で、伝えたいと思ったこと、見てほしいこだわりのポイントを教えてください。

A：食べ物は、自分たちの体をつくっているもので、食品を捨てることは自分たちの体を捨てることになるということをトリックアートのような形で表現した点です。

A：野菜のせつなさです。



Information

Q：今回のイラストを描いてみて感じる、「食品ロス」をなくすために必要だと思うことは何ですか？

A：インターネットを用いて、食べ物やごみの再利用方法を調べてリサイクルできるものはすること。

A：安売りしている食材を無計画に買わずに、計画的に買って使い切ること。

Q：「食品ロス」をなくすために、自分では何ができるとおもいますか？

A：購入した食材が余っているうちは、外食ばかりせず、家で使い切れるようにします。

Q：「食品ロス」をなくすために、今後どうしていきたいですか？

A：苦手なものは、おいしく食べられるように工夫します。

Q：「食品ロス」の削減にご協力いただけますか？

A：はい。（全員）

Q：「まんが甲子園」は、出題されるテーマに沿ってイラストを描くと思いますが、仮に「食品ロス」がテーマだった場合、負けない自信はありますか？

A：「まんが甲子園」は、1人の力ではなく、みんなで力を合わせるので、自信があります。

A：熱意があれば負けません。

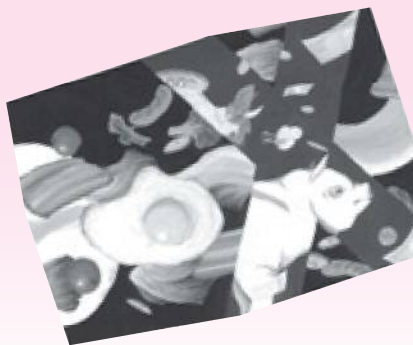
Q：最後に、「まんが甲子園」と「食品ロス」削減への意気込みをお願いします。

A：「食品ロス」のイラストを頑張って描けたので、この勢いで「まんが甲子園」も頑張っていきたい。

A：昨年メンバー入りができなかったので、今回は「まんが甲子園」に出たいです。「まんが甲子園」も「食品ロス」削減も全力で頑張ります。

A：「まんが甲子園」に出場したくて豊明高校に入学したので、頑張りたい。

A：自分や部員が描いたイラストで、家族や周りの人に「食品ロス」削減を発信できるようにしたい。



マッタマン：取材当日は、「まんが甲子園」のメンバー選考の絵の締切前日でした。お忙しい中、「食品ロス」、「まんが甲子園」への熱い思いを聞かせていただき、本当にありがとうございました。

太郎君：マッタマン！「食品ロス」のイラストを見たいな！

マッタマン：イラストレーション部のみなさんに描いていただいた素晴らしいイラストは、市ホームページや市役所内などで展示をする予定だよ！詳細は、決まり次第、お知らせするね！

豊明高校
イラストレーション部の
みなさんに描いていただいた
イラストは、すべて展示などを
予定していますので、
お楽しみに！

地球を守る
リサイクルの使者
マッタマン

